

**令和5年度 奈良市地域自立支援協議会
こども支援グループ 活動計画**

| | | |
|---------------------|--|---|
| 目 的 | 奈良市のこどもを中心に据えた支援の構築を考える | |
| テーマ 取り組み ポイント | <p>①当事者（本人・保護者）、参加者（全体会）からの地域課題の抽出</p> <p>②奈良市児童発達支援センターの今後の在り方と障害児相談について</p> <p>③医療的ケア児支援について検討</p> | |
| 検討内容 | <p>●グループ全体の活動</p> <p>①当事者（保護者）、参加者からの思いや意見を聞く場の設定</p> <p>②地域の中のこども支援と障害児相談について</p> <p>③医療的ケア児支援について検討</p> <p>④奈良市障がい児通所支援連絡協議会との連携</p> <p>●グループ活動の内容</p> <p>①当事者である子供の声を聴く（5歳児の声を聴く）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当事者である子ども（5歳児）の直接的な声を聴くためのワーキングチームにより、グーグルフォームを使ったアンケートと、直接インタビューを行う。 5/8～6/10：アンケート調査 7月以降予定：直接インタビュー ・関係機関の連携を考える <p>②児童発達支援センターの今後の在り方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度、児童福祉法の改正に伴う、児童発達支援センターの今後の在り方について奈良市にある4センターで今後の在り方や、地域での障害児相談等、こども支援の中核的機能の再構築を図る事を検討する。 ・奈良市の障がい児相談について地域の中でどのように相談を受けていけるのか、障がい児計画相談事業所不足における制度の再構築（積極的なセルフプランを導入）にあたって可能性の検討をする。 <p>③医療的ケア児ワーキング</p> <p><活動内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報共有、課題検討 ・交流会 ・医療的ケア児の指示書についての検討 ・医療的ケア児の防災 | |
| グループの 頻度 参加団体 | <p>全体会 11月（年1回）</p> <p>ワーキンググループ会議</p> <p>必要に応じて開催</p> <p>コアメンバー会議</p> <p>必要に応じて開催</p> | <p>東大寺福祉療育病院華の明、児童発達支援センター仔鹿園</p> <p>児童発達支援センターしおん</p> <p>児童発達支援センターくれよん</p> <p>奈良市障がい児通所支援事業所連絡協議会事務局いっぽ</p> <p>奈良市障がい児通所支援事業所連絡協議会のんたん</p> <p>たんぽぽ生活支援センター（放課後等デイサービスたんぽぽ）</p> <p>奈良市基幹相談支援センター、事務局</p> <p>奈良養護学校、奈良西養護学校、奈良東養護学校</p> <p>教育委員会教育支援・相談課、特別支援学級担任者会</p> <p>障がい福祉課生活支援係、保健予防課、保育総務課、たんぽぽ相談</p> |

| | | |
|-----|--|---|
| | | 支援センター、奈良県総合医療センター、奈良市医師会奈良市在宅医療・介護連携支援センター奈良市子どもセンター、奈良医療センター、バルツァーゴーデル、市内3か所の養護学校の保護者 ・グループ主担当 仔鹿園相談支援センター ・グループ副担当 東大寺福祉療育病院 |
| その他 | | |